

氏名： 瀬角 龍博

実施国：カンボジア

協力活動

(1) 計画通りに実施されましたか？運営面・経理面での変更点はありましたか？

- 活動場所に変更があった。タグネンをキャンセル、プレイプリエルとプレイチョアを追加した。
- 経理面では通訳謝金や借上車費用の交渉や民泊をすることにより、支出を予算より大幅に抑えることができた。支出について予算と決算の差額（決算－予算）が大きかったものは次の通りである。

航空券：－12.5 万円

通訳謝金：－6.6 万円

カンボジア内宿泊費：－6.4 万円

カンボジア内交通費：－5.3 万円

資機材費：－6.6

(2) 実施の結果（良かった点、反省点を含めて）

- シェムリアップの PDA (Provincial Department of Agriculture) の Deputy Director 3 名とのミーティングが実現した。将来的には PDA を中心とした行政主体の土着菌活用農法普及を期待していることから、つながりを維持できたのは良かった。
- 07 年にシェムリアップでワークショップを実施したのだが、その時の参加者であるシナンさん (PDA 職員) が、シェムリアップの村々に土着菌活用農法を普及させていることがわかり、我々にとって大きな励み、そして自信になった。
- プレイプリエル (今回初) には 6 日間滞在し、土着菌培養から堆肥作りの仕込みまで、一連の流れを指導することができた。また、このときに培養した土着菌をプレイチョア (今回初) にもって行き、培養後の現物を見せることによって、農家の関心を得ることができた。



堆肥づくり



土着菌培養の仕込み

(3) 異国の参加者同士または本人が相互理解を深めたと確信できた場面は？

または実施事業に対する一般の反響は？「協力活動」「調査研究」「海外での研修」

- シェムリアップでシナンさんが村々に土着菌活用農法を普及させていることを知った時。
- 昨年も同行してくれた通訳兼コーディネーターのカンボジア人といろいろなことについて語り合った。彼は我々が再びカンボジアに来るとは思わなかったようで、行動を共にしてく中で、我々の活動を理解し、彼自身のことについてもたくさん話してくれた。